

講義コード	519401903									
講義名	幼児音楽Ⅱ EF									
(副題)										
開講責任部署	幼児教育科（短大）									
講義開講時期	後期									
基準単位数	1									
時間	0.00									
代表曜日	木曜日									
代表時限	2 時限									
科目分類名	専門科目									
科目分野名	教職に関する科目									
対象学部・年次	短期大学部・2年									
必須/選択	選択									
担当教員										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専任教員</td> <td>長澤 順</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>専任教員</td> <td>教務委員会（短大）</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>		職種	氏名	所属	専任教員	長澤 順	指定なし	専任教員	教務委員会（短大）	指定なし
職種	氏名	所属								
専任教員	長澤 順	指定なし								
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし								

### 授業の概要

子どもの音楽的発達や、保育・幼児教育の場における音楽の意味及び重要性を理解し、音楽活動や表現活動に必要な知識・技能を習得するとともに、子どもの活動を支援し円滑に進めるための実践力を身につける。さらに、幼児用楽器類の取り扱いや指導法を修得する。

### 授業の到達目標及びテーマ

幼児の音楽表現に関する応用的な知識と技能の多面的な習得を目指す。

本科目は以下の5つを到達目標とする。

- 1.子どもの歌や手遊びの実技を修得し、幼児の音楽活動に活用できる。
- 2.子どもの音楽活動を支援するための音楽技能（ピアノ伴奏法）を習得し、活用できる。
- 3.年齢や季節に適した音楽活動を立案し、実施できる。
- 4.リズム遊びや幼児が扱う楽器の演奏方法や管理方法、合奏形態について理解する。
- 5.子どもの音楽的な発達に合わせた楽器類の指導方法を理解し、実施できる。

### 授業計画表

回	担当教員
第1回	ガイダンス<これからの保育者に求められる音楽技能>
第2回	4月の歌/子どもの身体表現①<子どもの動き>/手遊び①<食べ物の手遊び>
第3回	4月の歌/子どもの身体表現②<こどもの歌の振りつけ>/手遊び②<動物の手遊び>
第4回	4月の歌/幼児の打楽器①<種類と奏法>
第5回	5月の歌/幼児の打楽器②<管理と指導>
第6回	5月の歌/音の地図をつくらう/手遊び③<キャラクターの手遊び>
第7回	5月の歌/音楽遊び①2歳までの音楽遊び/手遊び④<数や形>
第8回	6月の歌/音楽遊び②3歳クラスの音楽遊び<遊具を使った遊び>
第9回	6月の歌/音楽遊び③4歳クラスの音楽遊び<色・数・形>
第10回	6月の歌/音楽遊び④5歳クラスの音楽遊び<ルールを伴う遊び>

第11回	7月の歌/音楽遊び創作<立案と計画書の作成>
第12回	7月の歌/音楽遊び発表①1～4班
第13回	7月の歌/音楽遊び発表②5～7班
第14回	8月の歌/音楽遊び創作発表の振り返り<相互評価と課題分析>
第15回	8月の歌/絵本と音楽の関わり/手遊び⑤<乗り物>
第16回	定期試験

### 授業時間外の学修

〔予習〕

授業の最初に歌うこどもの歌の伴奏を当番制で行う。事前に配布した資料に基づき、各回の伴奏担当者は十分な練習を重ねた上で授業に臨むこと。歌や手遊びに関しては、予め譜読みしておくこと。（各回の予習には30分程度かかると想定される。）

〔復習〕

音楽技能については、歌や手遊びの反復練習を行う。指導法などの講義の復習は、授業の最後に配布する「復習シート」に記入し、提出すること。（各回の復習には30分程度かかると想定される。）

### 実務経験の有無

--

### ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
◎	◎	◎	◎

### ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行っていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、新たな資料提供等の支援を行っている
技能の習熟度	歌や手遊びを正確に習得し、楽譜や資料を見ずにスムーズに表現できている	歌や手遊びを正確に習得し、楽譜や資料をほぼ見ずにスムーズに表現できている	歌や手遊びに時折間違いや滞りがあり、楽譜を見てある程度スムーズに表現できている	楽譜や資料を見ても、歌や手遊びを正確に行えず、滞りも多々あるため、教員や他者が支援している
実践内容の理解	自ら進んで実技・実践に関する手順や内容を調べ理解できている、その内容を他者にも詳しく説明することができる	実技・実践に関する手順や内容を調べ理解できている、その内容を他者にも概ね説明することができる	実技・実践内容に関する手順や内容をある程度理解できているが、他者への説明に曖昧な点がある	実技・実践内容に関する手順や内容の理解が不足しているため、他者にわかりやすく説明できない
実技・実践への態度	自主的・積極的に実技・実践に取り組んでおり、リーダーシップを発揮して活動できている。	自発的に実技・実践に取り組んでおり、ある程度積極的に活動に参加できている。	実技・実践へ取り組んではいるが、活動への参加が消極的である。	実技・実践へ取り組むことが難しく、教員が支援している。

## 成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験	50%	
小テスト等		
成果発表	30%	
授業への貢献度	20%	
レポート		
その他		

## 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する その都度解説、講評する	授業の中で解説、講評する その都度解説、講評する	授業の中で解説、講評する その都度解説、講評する

## ICTを活用した双方向型授業の内容

クリッカー、アンケート、小テスト等 チャット 掲示板の活用
-------------------------------------

## アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである
--------------------------------

## アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート (議論の場と時間) プレゼンテーション コメントシートの活用		

## 教科書

『新版 和音伴奏による 幼児のうた100曲』（第2版）全音楽譜出版社  
『簡易ピアノ伴奏による 実用こどもの歌曲200選』 ドレミ楽譜出版社

## 参考書

『保育・教育の現場で使える！弾き歌いピアノ曲集』津布楽杏里・桑原章寧編著（ドレミ楽譜出版社）  
『簡易伴奏による こどもの歌ベストテン』[改定新版] 坂東貴余子編著（ドレミ楽譜出版社）

## SDGsとの関連

4. 質の高い教育をみんなに
----------------

<b>研究室（訪問先等）</b>
中央研究棟2F 227研究室 水・木・金が出講日です。直接、研究室を訪ねてください。
<b>電話番号</b>
電話番号：028-667-7111（代）
<b>授業用E-mail</b>
<a href="mailto:nagasawa@sakushin-u.ac.jp">nagasawa@sakushin-u.ac.jp</a>